

学校改革！教職員の時間創造プロジェクト

～働きやすい環境づくりのために～

ニュースレター

2022年6月



Vo.2

あじさい

第1回 学校改革！教職員の時間創造プロジェクト会議を開催しました



プロジェクト会議は、教育委員会事務局と学校・幼稚園の代表が、教職員の時間創造プログラムにおける取組内容の進捗や実績などについて検証を行うほか、新たな課題について協議を行う場です。

令和4年5月18日（月）、本年度第1回の会議を行いました。会議では、まず「第2期 学校改革！教職員の時間創造プログラム」における令和3年度実績について報告を行いました。その後、プログラムにおける各課の取組状況や本年度の重点

点取組について協議し、プロジェクトメンバーからそれぞれの取組に関連して、次のような意見が出されました。

- ・調査回答を依頼する際には、調査の趣旨やポイントを周知すると、回答する先生方も理解が深まるのではないかと。
- ・年間授業時数や授業時間の見直しについて、今後は予備時数0時間を目指していくことを呼びかけていく。時間数よりも履修内容の習得の徹底が大事だと感じている。
- ・「働き方改革の取組」を行うと、やるが増えるという感覚をもつ先生方もおられる。何を減らすか、何をいつ行うかという視点にかえていかなければならない。
- ・まずは、「学校改革！教職員の時間創造プログラム」の内容や目的を多くの先生方が知る必要がある。

今年度は、学校種や職種、課題ごとに分科会を設け、現場の先生方のご意見がより多く反映されるよう取り組んでいきます。



五福小学校の先生方へインタビュー

様々な取組を行っている五福小学校の先生方にお聞きしました



先生も子どもも毎日楽しく活動できることが大切です。先生の仕事の基本は『授業』です。素敵な授業をするためには、心のゆとりがないといけません。先生方には、趣味をもつなど自分の時間も大切にしてほしいです。

本田裕紀 校長

Teamsでのやり取りで、時間がなくても情報や連絡事項を共有できるのが助かります。日課の工夫により生まれた放課後の時間は、学級事務や教材研究などに活用しています。自分の働き方次第で変わることもあると思います。

教員の仕事は、子どもの成長をそばで見ることができ、とてもやりがいがあります。

西川真和 先生

日課の工夫や会議の削減など、どんな取組においてもやってみないことには効果はわかりません。やってみて、続けることでよさに気づくことができます。また、今まで当たり前に行っていたことも、改めて見直していくことが大切です。どのようにして時間を生みだすか、空いた時間をどう使うかという視点でマネジメントしていくことが、働き方改革にもつながっていくと思います。

野口澄 教頭

五福小学校の働き方改革の取組

- ① Teams の活用
 - ・校務分掌をもとにグループを細分化し、情報を整理。
 - ・情報共有の際は、必ずメンションするように約束。
- ② 日課の工夫
 - ・週3日、朝自習・業間なしで午前中5時間授業。5時間授業の学年は14時頃、6時間授業の学年は15時頃下校。
- ③ 一人一台のタブレットの活用とペーパーレス化
 - ・授業で使うワークシート等の電子化(ノートも併用して活用)。
 - ・家庭への通信等の電子配信。
- ④ 戸締りの当番制(学年部で週替わり) その他



「ニュースレター」教職員の時間創造プログラムをご覧ください

本年度も、働き方改革の広報誌「ニュースレター」を発行します。ご多用な毎日をお過ごしのことと思いますが、放課後のほっと一息されるお時間にもでもご一読していただけたらと思います。また、本市の教職員の働き方改革に対する詳しい取組内容は、「学校改革！教職員の時間創造プログラム」に載せています。

★プログラム及びニュースレターの保存場所

①熊本市ホームページ（ホームページへのリンク先）

- ⇒ホーム > 学び・観光・スポーツ > 教育・学校・青少年・若者 > 教育施策・計画・年次報告 > 「第2期 学校改革！教職員の時間創造プログラム(令和3年度改訂版)」
- ⇒ホーム > 学び・観光・スポーツ > 教育・学校・青少年・若者 > 教育委員会 > 学校改革！教職員の時間創造プロジェクト「ニュースレター」

②校務支援システム

- ⇒グループウェア > キャビネット > 01教育委員会事務局 > 02学校改革推進課 > 学校改革！教職員の時間創造プロジェクト > 01プログラム、02ニュースレター

※「第2期 学校改革！教職員の時間創造プログラム」についてはVo.3に詳しく掲載します。

